

平成 28 年度第 4 回北区地域支援連絡会議 北区地域福祉推進会議へ向けたご意見

複合多問題家庭への支援コーディネート

高齢者では地域ケア推進会議、子育て支援では要保護児童対策地域協議会などそれぞれの支援体制があるが、複合多問題を抱える方やその家庭に対してはこれまでの枠組みをこえた、さまざまな課題に対する支援が行える“北区のコーディネート体制”を考えていく必要がある。

個人情報等共有のルール

情報共有において専門職の責任を避けるリスクマネジメントルールではなく当事者本人の利益となるためのルールになることを考える。大事なことは情報をいかに安心して共有する、情報を出せるルールをつくるか。北区の課題として“情報共有のルール”づくりに向けての議論が必要である。

ダイバーシティ（多様性）が受容できる北区

障がい者・認知症や外国籍の方など、自身と異なる多様な方を受け入れ、共に暮らせる地域づくりをめざす。排除や隔離ではなく、共に時間を過ごすことができ、ふれあう機会を地域でつくることで理解を広げるなど、多様性を受容する姿勢について、地域と専門職とが共に将来の目標として考えていくことが必要である。